

市の事業を市民の目で評価

～平成25年度 事務事業評価の結果をお知らせします～

問 総務課行政改革推進係
☎ 6719

市では、効率的で質の高い、成果重視の行政運営を実現するとともに、市政の透明性を高めるため、平成23年度より事務事業評価を実施しています。

3回目となる平成25年度は、平成24年度に実施された事務事業のうち123項目について評価を行い、平成26年度における事務事業の方向性について検討しました。

また、十和田市行政改革推進懇談会の下部組織である外部評価専門部会（部会長 高井伸二北里大学獣医学部長他5人）において、4事務事業について外部評価を行いました（評価結果および今後の対応方針は、下表のとおり）。

評価結果については、事務事業の見直しおよび行政運営に生かしていきます。

..... 外部評価対象事務事業の評価結果と今後の対応方針

外部評価対象事務事業名【担当課】	内部評価による方向性	外部評価を踏まえた今後の対応方針	
		方向性	取り組み内容
元気な十和田市づくり市民活動支援事業【まちづくり支援課】	有効性を改善して継続する	有効性、効率性の改善に留意し、制度の充実を図りながら継続的に取り組んでいく	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市民が輝くまちづくりの推進のため、制度の充実を図っていく。 2. 団体の自立に向けて誘導を図っていく。 3. 報告会の開催や広報などを通じて、さまざまな団体の利用促進を図っていく。 4. 市民への情報公開に努め、多くの客観的な評価の声を制度に反映し、公平性を維持していく。  <p>事業活用の一例「豊ヶ岡地区屋外活動の拠点整備」</p>
集客力を高める食・農・自然観光の連携【観光推進課】	効率性を改善して継続する	有効性を改善して継続する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 女性に喜ばれるエリア作りのため、オシャレな店や料理の提供に努めるとともに「長期滞在型の避暑地」「健康志向」をテーマとする観光メニューの開発のほか、「マチナカにおける現代アートの魅力強化」を目指す。 2. 誘客につながる情報発信の仕組み作りのため、観光情報ウェブサイト充実させる。 3. 二次交通の充実のため、津軽地域からの観光ルートに拡充させる。 4. チラシやポスターの新たな掲出場所の検討や駒らん情報めーるによる直前告知により、まずは一番身近な顧客である市民の積極的なイベント参加を促す。  <p>「奥入瀬温泉郷イルミネーション」の取り組み</p>
担い手の育成・確保【農林畜産課】	さらに重点化を図る	さらに重点化を図る	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の担い手に対して「十和田市人・農地プラン」への参加を働きかけ、機械導入および青年就農支援などの国庫補助金を活用できるよう積極的に推進し、農業所得の向上を図る。 2. 中小規模農家および水稲作付農家に対して、経営安定に向けた支援を行う。 3. 農地集積および耕作放棄地の復元による経営規模の拡大が可能となるよう、個々の集落営農組織について法人化の推進を図るための研修会を開催する。  <p>人・農地プラン策定のため各地域で検討を行った座談会</p>
新規高卒者の早期求人要請【商工労政課】	現状のまま継続する	現状のまま継続する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次世代を担う若者の地元での安定した雇用機会を確保するために、商工会議所など関係団体と連携して、地元企業に対して採用枠の確保・拡大と求人票の早期提出を要請する。 2. ミスマッチを解消するために、企業や関係団体に対してインターンシップや職場見学会・企業説明会などの開催を働きかける。 3. 求人票のさらなる早期提出に向けた検討材料とするため、市内企業の求人票の提出件数ならびに提出時期について情報収集する。  <p>地元企業に対して、市と関係団体が行った要請活動</p>

※評価方法などの詳細については、市ホームページに公開しています。

十和田市 事務事業評価

